

第17回

日本のシャンソン発祥の地・宝塚でのシャンソンの祭典

宝塚パリア祭

2024.

7.6 (土) & 7 (日)

14:00 開場 / 14:30 開演 (両日とも)



7/6
土

奥田佳子、川島弘、河野洋一、シモーヌ深雪、
須山公美子、玉田さかえ、星奈佐和子、
村山奈緒美、森本理子、立ともみ (50音順)

村上純那 (第10回宝塚歌謡選手権シャンソン部門最優秀賞受賞)

7/7
日

市原民子、カイエ文乃、桐さと実、坂尾彰彦、
須山公美子、千城恵、埴生美伽子、
藤井レイ子、ヤスコ Wild、柚木かほる (50音順)

平松隆彦 (第10回宝塚歌謡選手権宝塚シャンソン化計画賞受賞)

音楽監督・ピアノ演奏：吉田幸生

イラスト★細川ゆかり

宝塚ソリオホール

JR・阪急宝塚駅下車すぐ 「ソリオ1」の3階

[入場料 (全席指定)] 各日前売 3,000 円・当日 3,500 円 *宝塚市文化財団友の会 会員は 2,500 円

チケット販売 ● 宝塚市文化財団友の会 会員 4/19 (金) 10:00 ~

* 友の会先行予約初日 (4/19) は、ネットおよび文化財団の電話のみで受付。窓口での販売は 4/20 (土) より開始

● 一般 4/26 (金) 10:00 ~ : ソリオホール、ベガ・ホール、宝塚文化創造館、各出演者、ローソンチケット (Lコード: 54957)

* 文化財団ウェブサイトからも購入可能。「宝塚クリップ」で検索。詳細は右記 QR コードから

[お問い合わせ] (公財) 宝塚市文化財団 TEL:0797-85-8844 URL:<https://takarazuka-c.jp>

主催：(公財) 宝塚市文化財団、宝塚シャンソン化計画 / 後援：宝塚市、宝塚市教育委員会、FM 宝塚

* 未就学児の入場はご遠慮ください。 * 前売券完売の場合、当日券は販売いたしません。

イベント情報発信中
X@takaran_c



(宝塚クリップ内)
宝塚パリア祭 情報ページ

1927年(昭和2年)9月、宝塚少女歌劇団が上演した日本初のレビュー「モン・パリ」。これこそが、日本にシャンソンを広めた最初のステージであるとされています。

欧米の最新流行をいち早く取り入れ、広く紹介してきた宝塚。まさに、このまちは文化の発信地でした。

戦前の欧米文化受容期から暗い戦争の時代を経て、第二次大戦後、日本のシャンソンは一大ブームを迎えます。

そして、今なお、数多くのシャンソンが、あるときはフランス語の美しい響きで、あるときは訳詞による豊かな言葉を乗せて、また、あるときはレビューの華麗なステージで、人々を魅了し続けています。

間もなく訪れる日本のシャンソン100年。これまで積み重ねられてきた歴史、さらに、未来への想いを歌に込め、「第17回宝塚パリ祭」をお届けいたします。

どうぞごゆっくりお楽しみください!

出演歌手 (50音順)



市原民子 ● いちはらたまこ [7日] 関西学院大学卒業後、約10年の役者活動を経てシャンソンに魅せられる。ベコーオーディションを機に2007年プロデビューし、京阪神を中心としたライブハウスに出演中。「歌手は女優である」を座右の銘に、歌で人生を演じることを模索中である。



奥田佳子 ● おくだけいこ [6日] 「日々の生活にシャンソンを」、シャンソンを通しての生き甲斐作り、歌う事の喜びを感じてもらいたいと活動している。シャンソンをもっと若い人達にも知ってもらいたいと、様々な場所でのライブ活動を催していると考えている。



カイエツナ (海江田文) ● かいえつな [7日] 同志社大学文学及芸術学専攻卒。20世紀アートに耽溺し、ドイツのキャバレーソングやフランスのシャンソンに自己を見出して1994年より独特の感性で歌い始める。近年のテーマ・ステージはM. ディートリッヒ、J. グレコ。2024年春「カイエツナ」に改名。



川島弘 ● かわしまひろし [6日] 宝塚とのお縁は、シャンソンとの出逢い。20代 葦原邦子・橋薫・深緑夏代・真咲美岐ら諸先輩とのお縁が今の私に。芦野宏氏の付き人がスタート、深緑師匠に学ぶ。30歳で廃業、27年後、青春の友・なかにし礼訳詞コンサートで復帰。令和5年日本シャンソン館殿堂入りを果たす。



河野洋一 ● かわのよういち [6日] 大学時代にフランス語の詩朗読やシャンソンをフランス語で歌い始める。2001年「Concours J'aime chanter(フランス語で歌うシャンソンコンクール)」グランプリ受賞、歌手活動開始。シャンソン、カンツォーネ中心にジャズ、ミュージカルナンバー等幅広いレパートリーを歌う。



桐さと実 ● きりさとみ [7日] 宝塚歌劇団出身、「ミー & マイガール」「新源氏物語」など、代表作は数多く、二枚目男役として、15年在籍。退団後は、シャンソンライブ、OGコンサートなど、歌を中心に活動。カルチャーで、ボーカル、演劇の講師も務める。



坂尾彰彦 ● さかおあきひこ [7日] 岡本光平氏、のち出口美保氏に師事。1984年ベコーオーディション合格、以来ベコーを中心に、ライブ・コンサート・イベント等で活躍。CD「坂尾彰彦の素顔」「俺はコメディアン」リリース。2011年吹田市文化功労章受賞。暖かく優しい、真摯な歌声が胸を打つ。



シモノフユキ ● しもぬふかゆき [6日] 怪奇と官能と愛の不毛をこよなく愛するシャンソン歌手。また、1980年代より活躍しているドラマクイーンの一。ロマンティズムとアンチリアリズムの信条に裏打ちされた華麗なステージングアクトは、観る者すべてに某かの強烈な印象を残す。



須山公美子 ● すやまくみこ [6・7日] 関学在学中79年ロックバンドでライブハウスデビュー。オリジナルシンガーとシャンソン歌手の二足の草鞋を履き続ける。作詞作曲・訳詞・イベント企画・シャンソン講師・ラジオパーソナリティーと、多彩且つこだわり全開に活動中。宝塚シャンソン化計画主宰。



玉田さかえ ● たまださかえ [6日] 神戸市出身。20歳の頃出会ったシャンソンに心動かされ音楽活動を始める。1985年シャンソン歌手としてプロデビュー。その後、各地のシャンソニエ出演、コンサート、リサイタル等、幅広く活躍。個性的な情感溢れる歌唱は味わい深く、根強いファンも多い。



千城恵 ● ちしろけい [7日] 宝塚歌劇組男役スターとして活躍し、退団後、東京を中心にミュージカルの舞台に立ち、銀座里で本格的にシャンソンデビュー。1994年に姫路で音楽スタジオ開校。後進の指導にあたりつつ、「HIMEJI パリ祭」「HIMEJI ミュージカル」など、地元の音楽文化活性化に取り組んでいる。



壇生美伽子 ● はにゅうみかこ [7日] 2016年第32回日本アマチュアシャンソンコンクール全国大会最優秀歌唱賞受賞。歌う女優、もの語る歌いびと。ひとり芝居に歌を織り込んだ『歌ものがたり』シリーズが好評を博す。リサイタル、ソロライブでは独特の劇的な世界を描く。宝塚市在住。



藤井レイ子 ● ふじいれいこ [7日] 音楽教室講師を経て1985年NHKオーディション、ベコーオーディション合格と同時にシャンソン活動開始。2002年、2007年にアルバムを発表。関西を中心にコンサート、ライブハウスに多数出演。骨髄バンク支援チャリティライブ活動。らいぶはうすサンジャンのプロデューサー。



星奈佐和子 ● ほしなさわこ [6日] 宝塚歌劇団出身。在団中より深緑夏代氏に師事。退団後はシャンソンのステージ「大阪パリ祭」「サンケイパリ祭」他、多数出演。また、関西のシャンソンライブハウスにレギュラー出演多数。2008年CDアルバム『愛の旅立ち』を発売。新響楽器音楽教室シャンソン講師。



村山奈緒美 ● むらやまなおみ [6日] 風かおる氏に師事。第9回アマチュアシャンソンコンクール優勝。朝日ホール、新神戸オリエンタル劇場にて2度のソロリサイタル。2004年CD『アンジャンテ』リリース。2010年フランコジャポネコンサート in Parisに参加。日仏友好シャンソン KAKEHASHI 運営委員。



森本理子 ● もりもとこ [6日] 28歳の折、深夜ラジオから流れたダミアの「暗い日曜日」に魅了されシャンソンを志す。菅美沙緒氏に師事。青春時代にカウンターカルチャーの洗礼を浴び、主流派ではない暗く耽美な世界や、怖く楽しい世界の構築を目指し、オリジナル訳詞も制作中。



ヤスコWild ● やすこわいど [7日] 歌う詩人。関西外国語大学英米語学科卒。NPO 法人関西シャンソン協会理事長。1985年『三文オペラ』のソングを全訳。1989年よりパリのラバン・アジール・コネクターブル等に出演。コンサート活動の他、作詞、作曲、訳詞、掌編小説など執筆。



柚木かほる ● ゆのきかほる [7日] 早稲田大学で演劇を学んだ後「いずみ・たくフォーリーズ」入団。退団後、東宝ミュージカル等に出演。2007年日本アマチュアシャンソンコンクールで歌唱賞受賞。2008年西宮で Musical lab♪ を立ち上げ、後輩育成に尽力。2021年より「Nishinomiyama パリ祭」を主催。



立ともみ ● りつともみ [6日] 2007年宝塚歌劇団退団後、多数の舞台に出演。2011年奥の細道が題材の音楽劇『風雅の旅』で主演の芭蕉役を好演。2012年初ライブ。『エリザベート』ガラコンサートでマックス公爵を演じる。宝塚歌劇団で演技指導、宝塚音楽学校でポピュラー講師等、後輩の指導にあたる。

第10回宝塚歌謡選手権 シャンソン部門受賞者記念出演

第10回宝塚歌謡選手権シャンソン部門の受賞者に記念出演していただきます。熱唱に応援よろしくをお願いします。

【最優秀賞】



村上純那 ● むらかみじゅんな [6日] 奈良県出身。同志社女子大学学芸学部音楽科声楽コース卒業。10th JAPAN CHANSON CANZONE CONCOURS 全国大会出場。次世代シャンソン歌手発掘コンテストにてプリシリーズ優秀新人賞受賞(2024年)。シャンソンを柚木かほる氏に師事。あすか劇団「時空」団員。

【宝塚シャンソン化計画賞】



平松隆彦 ● ひらまつりゅういち [7日] 1995年兵庫県加古川市生まれ。シャンソンを柚木かほる氏に師事。2021年よりシャンソンライブ、コンサートなどでシャンソンを歌い始める。『次世代シャンソン歌手発掘コンテスト』優秀新人賞(2021,2022)、『JCCコンクール』準優勝(2023)。

音楽監督・ピアノ演奏



吉田幸生 ● よしだゆきお ● 幼少からエレクトーンを学び高校からピアノを独学。阪大軽音でジャズ、ロックを学び1983年出口美保氏の下シャンソン伴奏者となり、以来シャンソンのサポート全般に携わる。作曲・訳詩多数。ソロピアノではオリジナルからカバーまで独自のアレンジを加えた世界を展開。